

## 2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 15 日作成)

小委員会名	外装仕上げの耐用年数予測手法小委員会	主 査 名：今本啓一 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (耐久保全運営委員会)	委員長名：早川光敬 主 査 名：鹿毛忠継
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的)</p> <p>ファクターメソッドによる耐用年数設定に必要なリファレンス・サービスライフを実建物調査からデータ収集を行い、分析を行う。主に UR 団地や標準仕様の下に外装材の施工・改修が行われる物件を対象とし、実地調査を中心にデータの収集を行う。</p> <p>得られたデータの分析結果に基づき、外装仕上げ材の耐用年数とその予測手法を提案する。</p> <p>初年度：つくば官舎および UR 団地などの実地調査 2 年度：つくば舎および UR 団地などの実地調査 (継続) 3 年度：つくば官舎および UR 団地などの実地調査 (継続) 4 年度：データ分析結果に基づく外装仕上げ材の耐用年数とその予測手法の提案</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>今本啓一 (東京理科大学), 本橋健司 (建築研究振興協会), 古賀 純子 (芝浦工業大学), 鹿毛 忠継 (国土技術政策総合研究所), 榎木 堯 (ベターリビング), 濱崎 仁 (芝浦工業大学), 兼松学 (東京理科大学), 井上照郷 (日本建築仕上材工業会), 河上浩司 (清水建設)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	20,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 当初の予定通りの調査を行い。建築学会大会への投稿等を行っている。
委員会活動の問題点 ・課題	

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。